平成 17 年度眼科学教室業績集(2005. 4. ~2006. 3.)

I. 一般口演

平形明人(招待講演):高度近視眼の黄斑剥離. 富山眼科手術研究会, 富山, 平成17年4月9日.

有澤武士,小野賀子,堀田順子,堀田一樹:結膜悪性黒色腫の3例,第19回神奈川県昭和大藤が丘合同オープンカンファレンス,横浜市,2005年4月9日.

五月女典久, 野田英一郎, 鈴木由美, 浅川学, 宮本裕子, 川瀬英理子, 平形明人, 樋田哲夫: 広画角デジタル眼底カメラ (Retcam120®) を用いた未熟児眼底撮影. 第43回多摩眼科集団会, 東京, 平成17年4月9日.

平形明人(教育講演):液体パーフルオロカーボンの合併症.パーフルオロン適正使用講習会・札幌, 平成17年4月16日.

Nakauchi K, Fujikada T, Hirakata A, Tano Y: A tissue change after suprachoroidal-transretinal stimulation with high electrical current in rabbits. The 2nd DOE International Symposium on Artificial Sight. Apr. 29, 2005.

Nakauchi K, Fujikada T, Ohta J, Tokuda T, Kanda H, Tearasawa Y, Ozawa M, Hirakata A, Tano Y: Safetey and effectiveness of suprachoroidal-transretinal stimulation by chronically implanted electrode with continuous electrical stimulation in rabbits. 2005 Annual Meeting of Association for Research in Vision and Ophthalmology, Fort Lauderdale, Florida May. 2, 2005.

Okada AA, Sugahara M, Horie D, Nagamoto T, Shimazaki J, Ohashi Y, Hida T: Rapid microbial diagnosis of acute postoperative endophthalmitis using DNA microarray technology. International Uveitis Study Group Meeting, Lauderdale, U.S.A., Apr. 29, 2005.

Okada AA, Kojima E, Sugahara M, Watanabe T, Sugiyama W: Pulse intravenous methylprednisolone for Vogt-Koyanagi-Harada disease. Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology, Ft. Lauderdale, U.S.A., April 30-May. 3, 2005.

HottaK, Hotta J, Arisawa T, Ono Y: Refractive changes in silicone oil-filled pseudophakic eyes, AnnualMeeting of Association for Research in Vision and Ophthalmology (ARVO), Ft Lauderdale, Florida, May 5, 2005.

樋田哲夫:糖尿病網膜症の病態と治療. 第38回日本眼科講演会, 東京, 平成17年5月14日.

平形明人(教育講演): Photon の使用経験. Vit 研, 東京, 平成 17 年 5 月 20 日.

Read RW, Yu F, Accorinti M, Bodaghi B, Chee S-P, Fardeau C, Goto H, Kawashima H, Lemaitre C, LeHoang P, Okada A, Pivetti-Pezzi P, Secchi A, See R, Tabarra K, Usui M, Holland GN, Rao NA: Evaluation for ethnic variations in the characteristics of Acute Vogt-Koyanagi-Harada Disease: Implications for Diagnostic Criteria. Fourth International Workshop on Vogt-Koyanagi-Harada Disease and Sympathetic Ophthalmia, Monte Carlo, Monaco, May. 23-25, 2005.

Okada AA, Kojima E, Sugahara M, Watanabe T, Sugiyama W: Pulse intravenous methylprednisolone for Vogt-Koyanagi-Harada disease. Fourth International Workshop on Vogt-Koyanagi-Harada Disease and Sympathetic Ophthalmia, Monte Carlo, Monaco, May 23-25, 2005.

Okada AA, Takashima N, Morimura Y, Hirakata A, Hida T: Pulse intravenous methylprednisolone without enucleation for sympathetic ophthalmia. Fourth International Workshop on Vogt-Koyanagi-Harada Disease and Sympathetic Ophthalmia, Monte Carlo, Monaco, May. 23-25, 2005.

Hotta K, Hotta J, Arisawa T, Ono Y: Postoperative refractive error of secondary intraocular lens implantation after simultaneous vitrectomy and lensectomy, 2005 Meeting of The International Society of Refractive Surgery of the American Academy of Ophthalmology (ISRS/AAO), Hong Kong, China, May 16, 2005.

樋田哲夫:糖尿病網膜症の病態と治療. 第1回房総眼科フォーラム, 鴨川, 平成17年5月28日.

樋田哲夫:糖尿病網膜症に対するレーザー光凝固と硝子体手術. 北海道, 平成 17年6月4日.

渡辺交世,松木奈央子,永本敏之: 偽落屑症候群の白内障手術. 第 44 回日本白内障学会,第 20 回日本眼内レンズ屈折手術学会,京都,平成 17 年 6 月 17 日-19 日.

並木泉,渡辺交世,永本敏之: 30~50歳代における白内障の原因および形態的特徴.第44回日本白内障学会・第20回日本眼内レンズ屈折手術学会,京都,平成17年6月17日-19日.

松木奈央子, 永本敏之: 白内障手術後に悪性緑内障を発症した真性小眼球の一例. 第 44 回日本白内障学会・第 20 回日本眼内レンズ屈折手術学会, 京都, 平成 17 年 6 月 17 日-19 日.

永本敏之(シンポジウム): 小児白内障手術の目指すべき道-何故 IOL なのか-. 第 44 回日本白内障 学会・第 20 回日本眼内レンズ屈折手術学会,京都,平成 17 年 6 月 17 日-19 日.

永本敏之(教育セミナー): 新時代の白内障手術教育-手術研修に適した器材と薬剤-. 第 44 回日本

白内障学会・第20回日本眼内レンズ屈折手術学会,京都,平成17年6月17日-19日.

永本敏之(ナーシングプログラム): 大学病院のシステム構築. 第 44 回日本白内障学会・第 20 回日本眼内レンズ屈折手術学会,京都,平成 17 年 6 月 17 日-19 日.

堀田順子,小野賀子,中野敦雄,野村工,有澤武士,堀田一樹:硝子体・水晶体同時手術後の眼内レンズ二次挿入の術後屈折変化,第 20 回日本眼内レンズ屈折手術学会,京都市,平成 17 年 6 月 18 日.

平形明人(招待講演):高度近視眼の牽引性黄斑症.城南眼科集談会,東京,平成17年6月23日.

平形明人(招待講演): 眼内炎の治療、網膜剥離の予防処置について. 第 54 回埼玉眼科講習会、川越、 平成 17 年 6 月 24 日.

平形明人(招待講演): 白内障術後眼内炎の診断と治療-よりよい予後をめざして-. 第3回千葉臨床 眼科フォーラム, 千葉, 平成17年7月2日.

菅原道孝,岡田アナベルあやめ,渡邊交世,杉山和歌子,樋田哲夫:小児前部ぶどう膜炎に対するメトトレキセート内服療法の有用性.第39回日本眼炎症学会,横浜,平成17年7月8-10日.

岡田アナベルあやめ (シンポジウム): 非感染症ぶどう膜炎に対する薬物療法. 第25回日本眼薬理学会, 横浜, 平成17年7月8-10日.

齋藤博,細井文子,永本敏之,藤原隆明,宮本裕子¹,野入輝美¹,福田昌彦¹,村田恭子¹,下村嘉一¹,俊野敦子²,宇野敏彦²,大橋裕一²,石橋健³,野洲美代子³,横井則彦³,木下茂³,武田桜子⁴,亀井裕子⁴,松原正男⁴,宮永嘉隆⁵(¹近畿大²愛媛大³京都府立医大⁴女子医大・第二⁵西葛西井上眼科病院):ハードコンタクトレンズ(Z-250)30日連続装用の臨床報告(1.自覚的評価について).第48回日本コンタクトレンズ学会,横浜,平成17年7月9-10日.

宮本裕子¹,野入輝美¹,福田昌彦¹,村田恭子¹,下村嘉一¹,齋藤博,細井文子,永本敏之,藤原隆明,俊野敦子²,宇野敏彦²,大橋裕一²,石橋健³,野洲美代子³,横井則彦³,木下茂³,武田桜子⁴,亀井裕子⁴,松原正男⁴,宮永嘉隆 ⁵(¹近畿大 ²愛媛大 ³京都府立医大 ⁴女子医大・第二 ⁵西葛西井上眼科病院): ハードコンタクトレンズ(Z-Z50)30 日連続装用の臨床報告(Z2、安全性について). 第 48 回日本コンタクトレンズ学会, 横浜,平成 17 年 7 月 9-10 日.

樋田哲夫:してほしくないレーザー光凝固. 第38回欅桐会眼科研究会,平成17年8月20日.

岡田アナベルあやめ:抗網膜抗体を伴う Acute Annular Outer Retinopathy の1例. Japan Macula Club 第7回総会,蒲郡,平成17年8月20-21日.

三木大二郎:25 ゲージ硝子体手術. 第7回西東京眼科フォーラム, 東京, 平成17年9月3日.

中野敦雄,堀田一樹:片眼性に進行した眼底脱色素の1例,第14回千葉硝子体研究会,鴨川市,平成17年9月3日.

Tetsuo HidaVitrectomy for Posterior Retinoschisis and Retinal Detachment Associated with Optic Disc Pit and High MyopiaEast Asian Forum of Eye Health Mongolia 2005Ulaanbaatar, Sep. 5, 2005.

Okada AA: Transpupillary thermotherapy, Symposium on Laser treatment for age-related macular degeneration, 16th World Congress of the International Society for Laser Surgery and Medicine, Tokyo, Sep. 8, 2005.

Hotta J, Hotta K, Nagamoto T: Incidence of the vitreous staining in cataract surgeries with trypan blue capsule staining, XXIII congress of European society of cataract and refractive surgeons (ESCRS), Lisbon, Protegee, September 8, 2005.

Watanabe T, Matsuki N, Namiki I, Nagamoto T: Decrease of ultrasound energy by high frequency pulse mode of Infiniti. 2005 Annual Meeting of The European Society of Cataract & Refractive Surgeons, Lisbon, Sep. 10-14, 2005.

Namiki I, Matsuki N, Watanabe T, Nagamoto T: Results of cataract surgery with capsular tension ring implantation in eyes with zonule weakness and/or rupture. 2005 Annual Meeting of The European Society of Cataract & Refractive Surgeons, Lisbon, Sep. 10-14, 2005.

Okada AA, Sugahara M. Retinal autoantibodies in a case of acute annular outer retinopathy. 38th Meeting of the Retina Society, Coronado, U.S.A., Sep. 15-18, 2005.

栗原 崇¹, 稲見達也¹, 吉野 啓^{1,2} (¹杏林アイセンター, ²若葉眼科病院): Plateau iris 症候群の長期経過. 第 16 回日本緑内障学会, 熊本, 平成 17 年 9 月 16 日.

尾形真樹,田中恵津子,西脇友紀,平形明人,樋田哲夫,小田浩一:ロービジョン患者の Orientation and Mobility に関する困難と対応の分析. 第6回日本ロービジョン学会学術総会、第14回視覚障害リハビリテーション研究発表大会合同会議、神戸、平成17年9月18日.

永本敏之(特別講演): 白内障術前・術後-手術のタイミングと術後の点眼-. 第 9 回城東地区眼疾患セミナー,東京,平成17年9月28日.

今野公士: 鼻涙管閉塞(流涙症)の内視鏡的治療. 第6回西東京眼科フォーラム,東京,平成17年10月2日.

小野賀子:網膜色素変性症の病態,第4回千葉県難病医療相談「網膜色素変性症の集い」,館山市,平成17年10月6日.

五月女典久,平形明人,飯塚典子,樋田哲夫:硝子体黄斑牽引症候群に合併した網膜分離様変化に伴う 黄斑剥離.第59回臨床眼科学会,札幌,平成17年10月8日.

折原唯史,平形明人,忍足和浩,杉谷篤彦,今野公士,江本宜暢,樋田哲夫:自転車走行中の眼外傷の特徴. 第59回日本臨床眼科学会,札幌,平成17年10月8日.

松木奈央子,渡辺交世,並木泉,永本敏之: ヒーロン V を用いた外傷性角膜穿孔手術の成績. 第 59 回日本臨床眼科学会、札幌、平成 17 年 10 月 7 日-10 日.

永本敏之(インストラクションコース): 特殊例・難症例の白内障手術. 第 59 回日本臨床眼科学会, 札幌, 平成 17 年 10 月 7 日-10 日.

岡田アナベルあやめ、松本容子(日本大・駿河台),白神史雄(香川大),山本修一(千葉大),尾花明(聖隷浜松病院),樋田哲夫,日本 TTT 研究会:加齢黄斑変性の中心窩下脈絡膜新生血管に対する経瞳孔温熱療法(中間報告).第59回日本臨床眼科学会,札幌,平成17年10月7-10日.

菅原道孝,岡田アナベルあやめ,渡辺交世,杉山和歌子,樋田哲夫:眼科治療におけるステロイド全身投与時の骨粗鬆症.第59回日本臨床眼科学会,札幌,平成17年10月7-10日.

塩田伸子¹, 吉野 啓¹, 並木 泉², 稲見達也², 藤岡保範³(¹若葉眼科病院, ²杏林アイセンター, ³ 杏林大学病理学教室): 毛様体黒色細胞腫による続発緑内障 2 例. 第 59 回日本臨床眼科学会, 札幌, 平成 17 年 10 月 7 日 -11 日.

峯村純枝:第23回眼科写真展 第4部門 立体写真 乳頭コロボーマ 銀賞. 第59回日本臨床眼科学会, 札幌,平成17年10月7-10日.

今野公士,忍足和浩,樋田哲夫,斉藤博,平形明人,(杏林アイセンター), 倉田厚,飯原久仁子,藤岡保範,(杏林大病理)沖坂重邦,(眼病理教育研究所):外毛根鞘癌との鑑別に苦慮した眼瞼皮脂腺癌の1例.専門別研究会,第59回日本臨床眼科学会,札幌,平成17年10月7-10日.

有澤武士,成田信,小野賀子,堀田順子,堀田一樹:5-FU点眼の奏効したMMC点眼抵抗性の結膜上皮内癌,第59回日本臨床眼科学会,札幌市,平成17年10月8日.

平形明人(教育講演):網膜剥離.神経眼底コース,平成17年10月22日.

高橋清喜,稲見達也,栗原 崇,吉野 啓:診断に苦慮した Plateau iris 症候群の一例. 第 44 回東京 多摩地区眼科集談会,三鷹,平成 17 年 10 月 22 日.

堀田一樹(シンポジウム): 硝子体手術の新たな展望と問題点「25G 硝子体手術の真価」, 第 20 回千葉県 眼科手術懇話会, 千葉市, 平成 17 年 10 月 30 日.

小笠原亜希子, 気賀澤一輝, 渡辺敏樹, 高間直彦, 平形明人: 拍動性眼球陥凹を認めた2例. 第43回日本神経眼科学会総会 別府, 平成17年11月11日.

平形明人(教育講演): 眼底疾患と循環器疾患との関連. 第 318 回循環器研究会,東京,平成 17 年 11 月 16 日.

平形明人(教育講演): 高度近視眼の牽引性黄斑症. 第 11 回網膜硝子体セミナー, 東京, 平成 17 年 11 月 17 日.

平形明人(教育講演):予防処置後の網膜剥離-こんな予防手術は罪ではないか?- 第14回 Vit 研.

樋田哲夫: 眼に出るアトピー性皮膚炎の合併症, リウマチアレルギーシンポジウム, 福岡, 平成 17 年 12 月 4 日.

平形明人:強度近視の黄斑分離・剥離(黄斑円孔なし). 第 44 回日本網膜硝子体学会総会,大阪,平成 17 年 12 月 2-4 日.

三木大二郎:強度近視の黄斑分離症に対する手術適応(シンポジウム). 第 44 回日本網膜硝子体学会総会,大阪,平成 17 年 12 月 2 日.

三木大二郎: 20 ゲージシステムと複雑症例 (ランチョンセミナー). 第 44 回日本網膜硝子体学会総会, 大阪, 平成 17 年 12 月 2 日.

畑美枝子, 平形明人, 三井恭子, 樋田哲夫: 意図的後部硝子体剥離のみで改善した Pit-macular syndrome の 1 例. 第 44 回日本網膜硝子体学会総会, 大阪, 平成 17 年 12 月 2-4 日.

二神創,平形明人,杉谷篤彦,三木大二郎,川真田悦子,山岡青女,平岡智之,樋田哲夫:高度近視眼に伴う非裂孔原性黄斑剥離に対する後部硝子体剥離術.第44回日本網膜硝子体学会総会,大阪,平成17年12月2-4日.

五月女典久,岡田アナベルあやめ,菅原道孝,樋田哲夫:外傷性脈絡膜破裂により見つかった弾力線維性仮性黄色腫を伴う網膜色素線条症の一例.第44回日本網膜硝子体学会総会,大阪,平成17年12月

2-4 目.

江本宜暢,三木大二郎,平形明人,川真田悦子,岡田アナベルあやめ,樋田哲夫,安藤伸朗(済生会新潟第二病院):Penicilliumによる白内障術後眼内炎の一例.第44回日本網膜硝子体学会総会,大阪,平成17年12月2-4日.

鈴木由美,仁科幸子,東範行:先天網膜ひだの臨床検討,第44回日本網膜硝子体学会,大阪,平成17年12月3日.

中野敦雄, 小野賀子, 堀田順子, 堀田一樹: 眼部帯状疱疹発症後に進行した片眼性夕焼け状眼底の 1 例, 第 44 回日本網膜硝子体学会, 大阪市, 平成 17 年 12 月 3 日.

岡田アナベルあやめ: 非感染性ぶどう膜炎に対する薬物療法. 第7回福岡セミナー、福岡、平成18年1月21日.

平形明人(教育講演): 術後眼内炎に対する硝子体手術. 第 29 回日本眼科手術学会総会, 東京, 平成 18 年 1 月 27-29 日.

平形明人 (インストラクションコース):明日からはじめよう「手術をしたら病理検査」症例検討編. 第 29 回日本眼科手術学会総会,東京,平成 18 年 1 月 27-29 日.

忍足和浩,忍足直子(忍足眼科医院),岡田アナベルあやめ,平形明人,樋田哲夫:白内障術後眼内炎に対する治療法:アンケート調査.第29回日本眼科手術学会総会,東京,平成18年1月27-29日.

岡田アナベルあやめ (教育セミナー):加齢黄斑変性のレーザー治療-経瞳孔温熱療法-.第 29 回日本 眼科手術学会総会、東京、平成 18 年 1 月 27-29 日.

永本敏之(シンポジウム): 眼科手術に必要な解剖と生理-水晶体-. 第 29 回日本眼科手術学会総会, 東京,平成 18 年 1 月 27 日-29 日.

平形明人,三木大二郎、前田利根、塚原逸朗、堀田一樹、平岡智之:スキルトランスファー 硝子体. 第29回日本眼科手術学会総会,東京,平成18年1月27日.

平岡智之 (スキルトランスファー): 硝子体. 第 29 回日本眼科手術学会総会, 東京, 平成 18 年 1月 27-29 日.

今野公士,忍足和浩,大津敦子,樋田哲夫: 急激に失明に至った眼窩炎性偽腫瘍の1例.第29回日本眼科手術学会,東京,平成18年1月28日.

瀧和歌子,大平明彦,平形明人:黄斑外の網膜静脈分枝閉塞症に合併した黄斑浮腫に硝子体手術が奏効 した1例. 第29回日本眼科手術学会総会,東京,平成18年1月27-29日.

堀田順子,小野賀子,中野敦雄,有澤武士,堀田一樹:25G 経結膜無縫合硝子体切除後に生じた眼内炎の1例,第28回日本眼科手術学会,東京,平成18年1月30日.

有澤武士,中野敦雄,小野賀子,野村工,岩川雅哉,内田淳子,横山恭典,堀田順子,堀田一樹:マイトマイシン C 併用翼状片手術の前房への影響,第 28 回日本眼科手術学会,東京,平成 18 年 1 月 30 日.

三木大二郎:アトピー性皮膚炎の後眼部合併症. 第 16 回眼科医療従事者講習会, 東京, 平成 18 年 2 月 4 日.

Hirakata A: Diagnosing Neovascular Glaucoma and Understanding The Source of Ischemia. World Ophthalmology Congress, Sao Paulo, Brazil, Feb 21, 2006.

Okada AA: "Pediatric uveitis," Symposium sponsored by the International Uveitis Study Group, World Ophthalmology Congress, Sao Paulo, Brazil, Feb 24, 2006.

杉谷篤彦,平形明人,福田稔 (杏林大電顕室),樋田哲夫:内境界膜皺襞を合併する糖尿病黄斑浮腫の一例.第12回日本糖尿病眼学会,東京,平成18年3月10-12日.

平形明人 (ランチョンセミナー): 光学系を考える - 網膜観察 VS 網膜保護 - . 第 12 回日本糖尿病眼学会,東京,平成 18 年 3 月 10-12 日.

岩川雅哉、中野敦雄、小野賀子、内田淳子、野村工、横山恭典、堀田順子、堀田一樹: 脳外科的治療後に生じた視覚障害の2例,第247回千葉眼科集談会,千葉市,平成18年3月12日.

<u>II. 論文</u>

Hirakata A, Okada AA, Hida T: Longterm results of vitrectomy without laser treatment for macular detachment associated optic disc pit. Ophthalmology 112:1430-1435, 2005.

Hirakata A, Hida T, Ogasawara A, Iizuka N: Multi-layered retinoschisis associated with optic disc pit. Jpn J Ophthalmol 49:414-416, 2005.

Hirakata A, Hida T, Fukuda M: Unusual posterior hyaloid strand in optic disc pit maculopathy in a young child: Intraoperative and histopathological findings. Jpn J Ophthalmol 49: 264-266, 2005.

今野公士,平形明人,若林俊子,永本敏之,鶴岡一英:内頚動脈海綿静脈洞ろうに合併した重篤な脈絡膜剥離の治療経験. 眼科手術 18:245-248, 2005.

西脇友紀,田中恵津子,平形明人,小田浩一,気賀澤一輝,樋田哲夫:読書評価が診断と治療に有効であった心因性視覚障害の1例.日本眼科学会雑誌 109:761-765,2005.

小幡博人,平形明人, Alan D. Proia,青木真祐:前衛と後衛-未熟児網膜症の病理-. 眼科 48:1233-1239, 2005.

平形明人:網膜剥離手術-眼科手術におけるインフォームドコンセントー. 眼科 47:337-345, 2005.

岩本朋之,飯島千津子,宇多重員,樋田哲夫:当院における放射状視神経切開術の中期予後.臨床眼科59:491-496,2005.

國松敦子,永本敏之,若林俊子,小島絵里,浅野由香,岡田アナベルあやめ,樋田哲夫:ぶどう膜炎眼の白内障手術時球後トリアムシノロン注入. 眼科手術 18:435-438, 2005.

樋田哲夫:硝子体手術の進歩を振り返って. 臨眼 59:1252-1259, 2005.

Akito Hirakata, Tetsuo Hida, Akiko Ogasawara, and Noriko Iizuka: Multilayered Retinoschisis Associated with Optic Disc Pit. Jpn J Ophthalmol 49: 414-416, 2005.

西脇友紀,田中恵津子,平形明人,小田浩一,気賀澤一輝,樋田哲夫:読書評価が診断と治療に有1効であった心因性資格障害の1例.日本眼科学会雑誌 109:761-765,2005.

Hirakata A, Hida T, Wakabayashi T, Fukuda M: Unusual posterior hyaloid strand in a young child with optic disc pit maculopathy: Intraoperative and histopathological findings. Jpn J Ophthalmol 49: 264-266, 2005.

Morimura Y, Okada AA, Hayashi A, Fujioka S, Hashida N, Kawahara S, Hida T: Histology and protein expression in subthreshold transpupillary thermotherapy in rabbit eyes Arch Ophthalmol 122:1510-1515, 2004. Authorship correction in Arch Ophthalmol 123:281, 2005.

Hirakata A, Okada AA, Hida T: Longterm results of vitrectomy without laser treatment for macular detachment associated optic disc pit. Ophthalmology 112: 1430-1435, 2005.

Tadashi O, Toshiko W, Okada AA, Megumi T, Yoshihiro M, Eri K, and Tetsuo H:A Young Japanese Man With Relentless Placoido Chorioretinitis. Jpn J Ophthalmol 49:539-542, 2005.

永本敏之,川真田悦子:摘出交換を要したハイドロビュー[™]眼内レンズ混濁.日眼会誌 109: 126-133, 2005.

工藤かんな, 永本敏之, 渡辺交世, 石垣純子, 平岡智之, 原田拓二: トリパンブルー前嚢染色の合併症-硝子体染色-. 眼紀 56: 168-171, 2005.

永本敏之: 術中核落下のリスクと対処法 (総説). あたらしい眼科 22 (臨増): 194-199, 2005.

Konno K, Nagamoto T: Membranous Proliferation on the Posterior Surface of an Intraocular Lens After Nd: YAG Laser Capsulotomy. Jpn J Ophthalmol 49: 173-175, 2005.

永本敏之:白内障術後の点眼-眼圧異常を来す疾患と治療-(総説). 日本医事新報 4237. 東京,日本 医事新報社,2005. p95-96.

根間千秋、忍足和浩、高島直子、岡田アナベルあやめ、樋田哲夫:臨眼 58:355-358, 2004.

Okada AA: Non-infectious uveitis - a scarcity of randomized clinical trials. *Arch Ophthalmol* [Editorial] 123:682-683, 2005.

國松敦子、永本敏之、若林俊子、小島絵里、浅野由香、岡田アナベルあやめ、樋田哲夫: ぶどう膜炎眼の白内障手術時球後トリアムシノロン注入. 眼科手術 18:435-438, 2005.

Okada AA: Immunomodulatory therapy for ocular inflammatory disease - A basic manual and review of the literature. *Occular Immunol Inflamm* 13:1-17, 2005.

Orihara T, Wakabayashi T, Okada AA, Takahashi M, Morimura Y, Kojima E, Hida T: A Japanese patient with relentless placoid chorioretinitis. *Jpn J Ophthalmol* 49:539-542, 2005.

岡田アナベルあやめ: Vogt-小柳-原田病における補助検査. 眼科 47:937-942, 2005.

岡田アナベルあやめ:経瞳孔温熱療法 (TTT) -現状の評価. 眼科手術 18:337-340, 2005.

Kokame TG, Yamaoka S: Subretinal surgery for peripapillary subretinal neovascular membranes. RETINA 25: 564-569, 2005.

山岡青女、岡田アナベルあやめ:半導体レーザー光凝固装置- $SLx/SLx\alpha$ (オキュライト). あたらしい 眼科 22:1607-1611, 2005.

Hotta K, Sugitani A: Refractive changes in silicone oil-filled pseudophakic eyes. Retina 25: 167-170, 2005.

塩田伸子¹,岡田 丈¹,稲見達也¹,吉野 啓^{1,2}(¹杏林大学医学部眼科学教室,²若葉眼科病院): 内皮網除去を併用したトラベクロトミーの手術成績. あたらしい眼科 22:1693-1696,2005.

Kawase E, Azuma N, Shioda Y, Kumagai M: Infantile case of occlusive microvascular retinopathy after bone marrow transplantation. Jpn J Ophthalmol. Jul-Aug; 49(4):318-320, 2005.

Hirakata A, Hida T: Vitrectomy for myopic posterior retinoschisis and/or foveal detachment. Jpn J Ophthalmol 50: 53-61.

Yamaguchi Y, Watanabe T, Hirakata A, Hida T: Localization and ontogeny of aquaporin-1 and -4 expression in iris and ciliary epithelial cells in rats. Cell and Tissue Research, (in press).

Konno K, Nagamoto T: Membranous Proliferation on the Posterior Surface of an Intraocular Lens After Nd: YAG Laser Capsulotomy. Jpn J Ophthalmol 49: 173-175, 2005.

今野公士,平形明人,若林俊子,永本敏之,鶴岡一英:内頚動脈海綿静脈洞瘻に合併した重篤な脈絡膜剥離の治療経験. 眼科手術 18:245-248, 2005.

Suzuki Y, Kawase E, Nishina S, Azuma N: Two patients with different features of congenital optic disc anomalies in the two eyes. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol Jul 15: 1-3, 2005.

野村 工,堀田一樹:人間ドックでの糖尿病患者の網膜症新規発症と背景. あたらしい眼科 22:1577-1581, 2005.

堀田順子,堀田一樹:硝子体術後の眼内レンズ毛様溝二次挿入の術後屈折変化. 眼科臨床医報 100: 227-230, 2006.

Hotta K: Early postoperative macular features determined by optical coherence tomography after idiopathic macular hole surgery with silicone oil tamponade. Ophthalmic Surg Lasers Imaging 36: 426-431, 2005

Hotta K, Arisawa T, Mito H, Narita M: Squamous cell carcinoma of the lacrimal gland. Clin Experiment Ophthalmol 33: 534-536, 2005.

Hotta K, Kondo M, Nakamura M, Hotta J, Terasaki H, Miyake Y, Hida T: Negative electroretinograms in pericentral pigmentary retinal degeneration. Clin Experiment Ophthalmol 34: 89-92, 2006.

Hotta K: A case of unilateral occult maculopathy with normal-tension glaucoma. Jpn J Ophthalmol 50: 75-78, 2006.

Hotta K: Choroidopathy with serous retinal detachment in a patient with polymyositis. Eur J Ophthalmol 16: 318-325, 2006

III. 著書

平形明人: 硝子体手術の効果と予後. 大鹿哲郎他(編): 術後眼内炎, 眼科プラクティス 1, 文光堂, 東京, 2005. p 34-37.

平形明人: 黄斑分離と剥離. 樋田哲夫他(編): 黄斑疾患の病態理解と治療, 眼科プラクティス 2, 文 光堂, 東京, 2005. p 250-255.

平形明人:糖尿病網膜症. 香川靖雄他(編):人体の構造と機能及び疾病の成り立ち各論 I , 南江堂, 東京, 2005. p 24-30.

杉本敬,平形明人:網膜剥離手術-研修医が行う術前・術後の指示および管理(1)-. 吉田晃敏(編):すぐに役立つ眼科診療の知識 網膜・硝子体,金原出版株式会社,東京,2005. p104-108.

平形明人:巨星墜つ. Ophthalmic Surgeons 4, 2005. p75.

平形明人: 気になる!?健康アドバイス「飛蚊症」. ゆう さわやか・秋興, 2005.10.5. p10.

平形明人:なんでも健康相談「光視症」ではないかと心配です。きょうの健康,2006年1月p127.

平形明人:心と体 診察室-飛蚊症と網膜剥離. 日経ビジネス, 2005.12.19. p67.

平形明人: 前房水と硝子体-網膜生検と網膜下生検の手技-. 吉川洋, 石橋達朗(編): いますぐ役立つ眼病理, 眼科診療プラクティス 8, 文光堂, 東京, 2006.

平形明人:網膜、網膜前膜と網膜下組織ー増殖組織の採取、固定、包埋ー.吉川洋,石橋達朗(編):いますぐ役立つ眼病理,眼科診療プラクティス 8,文光堂,東京,2006.

永本敏之: サイドポート、粘弾性物質注入、CCC 完成まで-すべてのトラブルにお答えします. 白内障手術 CCC 完全マスター,編者 黒坂大次郎、前田直之.東京,メジカルビュー社,2005.8.10. p76-101.

三木大二郎(共著): 黄斑浮腫の治療一硝子体手術. 眼科診療プラクティスー糖尿病眼合併症の治療指

針一. 東京, 文光堂, 2005, p112-115.

今野公士,永本敏之:野球の球が目にあたって物が二重に見える-事故編-.シミュレーションで学ぶ 救急対応マニュアル,編者 千代孝夫.東京,羊土社,2005.11.10.p62-68.

斉藤博,永本敏之:バーベキューをしていて、目に鉄粉が入った-アウトドア編-.シミュレーションで学ぶ救急対応マニュアル,編者 千代孝夫.東京,羊土社,2005.11.10.p170-173.

永本敏之:糖尿病患者の白内障手術. 眼科プラクティス 7. 糖尿病眼合併症の診療指針,編者 樋田哲夫,東京,文光堂,2006. 1.23. p170-175.

川真田悦子、岡田アナベルあやめ:経瞳孔温熱療法 (TTT). 眼科プラクティス,樋田哲夫 (編)文光堂、東京,2005. p236-237

岡田アナベルあやめ:経瞳孔温熱療法. NEW MOOK 眼科-彼黄斑変性、石橋達朗、湯沢美都子、吉田晃敏 (編) 金原出版、東京, 2005. p110-114

岡田アナベルあやめ:ステロイド結膜下注射、後部テノン嚢下注射(経テノン嚢球後注入). すぐに役立つ眼科診療の知識 特集:基礎からわかるぶどう膜炎、水木信久(編). 金原出版、東京、2006.

吉野 啓 (若葉眼科病院):Ⅲ. その他の眼合併症/5. 新生血管緑内障/2)手術の実際/①濾過手術. 眼科プラクティス 7・糖尿病眼合併症の診療指診,文光堂,東京,2006. p184-187.

西脇友紀:糖尿病患者のロービジョンケア. 樋田哲夫編:糖尿病眼合併症の診療指針、眼科プラクティス7、東京、文光堂、2006. p 222-227.

今野公士: 眼科プラクティス 7 糖尿病眼合併症の治療指針 Ⅲ. その他の眼合併症; 6. 内因性眼内炎, 文光堂, 2005. p176-177.

鈴木由美, 東範行: 乳頭部の先天異常 これならわかる神経眼科. 眼科プラクテイス, 根木昭編, 東京, 文光堂, 2005. p154-158.

川真田悦子:内頸動脈閉塞症と網膜症. 眼科プラクティス 7. 糖尿病眼合併症の診療指針, 樋田哲夫 (編)文光堂, 東京, 2006. p.150

IV. その他

岡田アナベルあやめ:フジテレビ (スーパーニュース) 出演. 平成17年11月15日.

岡田アナベルあやめ:日経新聞(夕刊)インタービュー. 平成17年12月20日.

岡田アナベルあやめ:サンケイリビング新聞 インタービュー. 2006年3月.